

札幌みらい塾
2023

ACF アートサロン

安田 侃 トーク

2023.07.26 wed 18:30-20:30

会場：カナモト ホール（札幌市民ホール）2F 第1会議室
札幌市中央区北1条西1丁目

〈妙夢〉 札幌 JR TOWER 2002年設置 Photo: Soma Sato

料金：一般 2,000円 学生・ACF会員・V-net会員 1,500円

ご予約・お問合せ 〈ACF札幌芸術・文化フォーラム〉 E-mail: sapporoacf@gmail.com Tel.090-3110-6575 (有田)

主催：ACF札幌芸術・文化フォーラム、大和リース(株) 後援：北海道日伊協会、さっぽろアートボランティア・ネットワーク(V-net)



〈生涯〉 札幌創成川公園 2011年設置 Photo: Kouji Sakai

安田 侃

(KAN YASUDA 彫刻家)

1945年 北海道美唄市生まれ

1970年～渡伊。ローマ・アカデミア美術学校で学び、以降、大理石の産地として知られるトスカーナのピエトラサンタにアトリエを構え、大理石とブロンズによる彫刻の創作活動を続けている。

主なモニュメント設置場所

東京ミッドタウン、東京国際フォーラム、三菱商事本社ビル(東京)、札幌駅 JRタワー、札幌コンサートホール Kitara、北海道知事公館、洞爺湖畔、創成川公園、旭川駅、東川小学校、ノーザンホースパーク(北海道)、セゾン現代美術館(長野) ベネッセアートサイト直島(香川)、トラヤヌス帝の市場(ローマ・イタリア)、ポーポリ庭園(フィレンツェ・イタリア)、ガラチーコ(カナリア諸島・スペイン)、オーロラプレイス(シドニー・オーストラリア)、シティーガーデン(セントルイス・アメリカ)、1251 アメリカ街(ニューヨーク・アメリカ)、ブリッジウォーターホール(マンチェスター・イギリス)

主な個展など

- 1991年 「彫刻の道」展、ミラノ(イタリア)
- 1994～95年 「大理石とブロンズ」展、ヨークシャー彫刻公園(イギリス)
- 1995年 「野外彫刻展」、ピエトラサンタ(イタリア)
- 2000年 「街における彫刻」展、フィレンツェ(イタリア)
- 2001～02年 「安田侃野外彫刻」展、東京都庭園美術館(日本)
- 2002年 第15回村野藤吾賞(受賞作品 アルテピアッツァ美唄)
- 2003年 「安田侃の世界-天にむすび、地をつなぐ-」展、北海道立近代美術館及びアルテピアッツァ美唄
- 2005年 「人生を愛することは、平和を作ること」展、アッシジ(イタリア)
- 2007～08年 「時に触れる」展、ローマ(イタリア)
- 2011年 「時に触れる」展、トリノ(イタリア)
「安田侃野外彫刻展-街に触れる-」展、札幌(日本)
- 2011～12年 「現代の神話」展、タオルミーナ、シチリア(イタリア)
- 2016年 「Touching Time」展、クリスティーヌ、ニューヨーク(アメリカ)
「時に触れる」展、ピサ(イタリア)
- 2017年 「Between Sky and Water」展、アマンヴェニス、ヴェネツィア(イタリア)



〈天沓〉 水の広場 安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄 1997年設置 Photo: Katomi

安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄はかつて日本有数の炭鉱都市だった美唄市の山間にある野外彫刻美術館です。イタリア語で芸術広場を意味するアルテピアッツァ。そこでは現代彫刻が自然と深く調和し、人々を魅了します。アルテピアッツァ美唄は自然、人、芸術の新しいあり方を提示してきました。

それは人々の中に、新たにあるいは改めて自分を見つける時間と空間を息づかせるという、芸術の本質を呈する安田侃の作品によって実現されています。

[ACF 札幌芸術・文化フォーラム]とは 創造都市札幌の芸術・文化の未来を開こうと、2007年春に市民有志が立ち上げた団体。市民と芸術家そして行政・企業を結ぶネットワークを形成し、さまざまなイベントを実施し、情報を発信している。市民らの協働による芸術・文化の溢れるまち作りを目標としている。代表は上田文雄(前札幌市長)。